



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年

Rotary District 2640 JAPAN

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST



海南東ロータリークラブ

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

## 第 2123 回例会

2023年 1月 16日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

新会員卓話 前田 誠吏 君 才力 昭浩 君

## 1. 開会点鐘

## 2. ロータリーソング

「我らの生業」

## 3. 出席報告

会員総数 44名 出席者数 21名

出席義務規定適用免除会員 3名

出席率 51.22% 前回修正出席率 80.49%

## 4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんにちは。先ずもって、1月7日に開催された新春夫婦例会にたくさんの会員の方に参加いただき、皆さんのご協力のもと、ご家族の方々に楽しんでいただき、親睦を深められたこと感謝申し上げます。また、奥委員長を筆頭に親睦員会の皆さんにおかれましては事前の準備に始まり、当日はサルサダンスやビンゴゲームなど楽しい余興を企画していただきありがとうございました。おかげさまで楽しいひと時を過ごすことができました。改めて御礼申し上げます。



さて、1月の特別月間は「職業奉仕月間」となっています。ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法があります。

- ・ 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- ・ 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを

生かす

- ・ 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
  - ・ 若者のキャリア目標を支援する
  - ・ 専門能力の開発を奨励し、指導する
- 職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。

本日の卓話は皆さんお待ちかねの新会員の方による会員卓話となっています。本日は前田さん、才力さんに後ほど卓話していただきます。よろしくお願いいたします。

## 1月は 職業奉仕月間

## 5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

特にありません。

## 6. 新会員卓話

前田 誠吏 君

皆さんこんにちは。今日は私の職業、仕事についてお話いたします。株式会社ピュアというCM（コンストラクション・マネジメント）サービスを提供する会社を海南市且来で営んでいます。



CMという言葉はまだまだ知名度が低いのですが、日本では2001年に日本CM協会が発足、翌年には国土交通省によるCM方式運用ガイドラインの発行を機に急速に周知されるようになりました。中央都心では官民間問わず、CMサービスを活用することが主流となりつつあります。地方では、まだまだ活用事例が少ないのが現状です。和歌山県では、(株)紀陽銀行様が早くからCMサービスを活用しています。公共施設では、現在進行中の御坊市新庁舎がCM方式を採用しております。このように近い将来必ず主流になりえる手法です。お客さま側に立ち、設計や施工に関し徹底した品質管理とコストダウンに努めます。

コストダウンと言っても、品質を落としたコストダウンでは一般的な減額にすぎません。当社は、VE（バリューエンジニアリング）活動やいろいろな

四つのテスト 通行はこれにのりしてから

- ①真実かどうか
- ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか

Rotary



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

手法を用いて品質を落とさずコストだけを下げ、いわゆる医薬品というジェネリック的な商品や工法で提案します。

「良いものをより安く提供すること」を基本的価値観とし、お客さまに喜ばれる企業を目指してまいります。

基本理念は、今で満足することなく、常に向上心を持って「良いものをより安く提供すること」を価値観とし、お客さまには感謝と、ピュアな心をもって対応させて頂くことを基本としております。

お客さま側に立つ、建設のプロを活用しませんか？

一般的に、建設プロジェクト経験の少ないお客さま（発注者）は、建設分野のプロに対し、情報の少ないなかで判断していかなくてはならない状況に置かれています（図1） ㈱ピュアのCMr（コンストラクションマネジャー）は、建設分野のプロとしてお客さまの側に立ち（図2）、CM（コンストラクション・マネジメント）方式により、品質・コスト・スケジュールをマネジメントいたします。



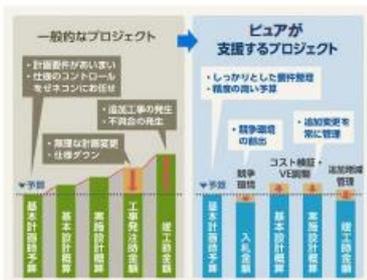
図1 情報の非対称性

図2 発注者側の技術的補完

### ①建設コスト削減

プロジェクト固有のリスクを見抜き、設計段階、施工段階でのコストオーバーを未然に防ぎます。

計画時点の予算に対し、建設コストが大幅に超過するケースが増えています。弊社は初期段階で精度の高い予算を策定、それ以降のコスト推移を常にお客さまと共有することで、予算超過による手戻りを防止し、予算内でのプロジェクト実現を支援します。発注段階では、建設市場動向にあわせた適正価格を算出（ピュアの見積り）することにより、公正かつ透明性を担保した競争環境を構築、各段階では VE（バリューエンジニアリング）手法を活用し、建設コスト削減を実現します。

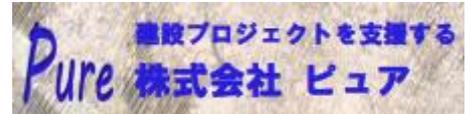


### ②建設のプロとして、お客さまが求める要求品質実現を支援します。

お客さまが求める要求品質実現に向けて、建設のプロとして設計図の確認、使用材料の妥当性を確認します。また設計者、施工者の技術提案を活用し、更なる最適化を行うことで、よりよい要求品質を実現します。また、私たちが技術的に中立的な第三者としてプロジェクトの妥当性を確認することで、アカウントビリティ（説明責任）の向上に寄与します。

### ③工期厳守

プロジェクトの全体像をマスタースケジュールに落とし込み、遅延を防止します。プロジェクトの初期において、完了までのシナリオを構築し、マスタースケジュールとして提案します。「誰が、いつ、何をするか」を明確にし、マイルストーン（中間目標）の設定と監視により工期遅延を防ぎます。



建物の断熱効果を高めます。

ランニングコスト（光熱費）を抑えることにより二酸化炭素の排出量軽減＝地球温暖化対策に努めます。



才力 昭浩 君

皆さんこんにちは。まず、私の生い立ちをお話します。

1964年(昭和39年)6月9日父守雄、母圭代の長男として、この世に生まれてきました。母親のおばさんが産婆さんをして、そこで生まれたそうです。昔は、病院でなく産婆さんで生まれてくる子が多かったそうです。僕が生まれて約2年半後弟が生まれました。男2人兄弟です。



小さい頃は、好き嫌いが多い子でした。牛乳、茶粥とかよく食べていたそうです。近所におばあさんの所にはしとお茶碗もってよくよばれに行っていたと聞いていました。

昭和45年に下津幼稚園に入園しました。さくら組やったと思います。昭和46年に下津小学校に入学しました。幼稚園小学校の低学年の時はよく風邪、へんとう腺炎とかで休んでいた記憶があります。小学校4年生の時軟式野球に入りました。僕らの時は、硬式野球、ほぼ毎日練習のある軟式野球週2回練習のある軟式野球と3つありました。言うまでもなく週2回の方に入りました。その頃から熱とかもあまり出なくなってきたようです。6年生の時、キャッチャーで出ていました。年間5割ぐらいの勝率やったと思います。



昭和52年に下津第1中学校に入学しました。この辺は幼稚園から中学校まで他の学校と合流せず10年間ずっといっしょでした。中学生になってクラブは野球じゃなくバスケットボール部に入りました。3年間やっていたけど、レギュラーにはなれずでした。小学生、中学生のころは海が近いのもあったけど釣りもよくしました。お金がないから、うどん1玉かって牛乳びんにひもをくくって池に投げてえびととってきたり海岸でゴカイをとったり

して釣りに行っていました。

昭和 55 年に県立海南高等学校に入学しました。はじめて、他の学校の生徒とまじわったので、いろんな考えの同い年いるなっておもったのを覚えています。高校の時、宇恵さん、角谷さんと会っているんやけど高校生の時はあまりしゃべったことはなかったです。

高校の時は、クラブは入らず、高2の夏休みにバイトして、夏休み後半に友だち4人で山口県に旅行に行きました。秋芳洞、萩・津和野とかレンタル自転車借りてまわった。行きは急行で4人掛けの席で行き、帰りは最初で最後のブルートレインで帰ってきた。大学受験はしましたが、全部落ちた。

高校卒業してから、バイクと、車の免許とってから家で働きだした。大工の修業で5年間は小遣い程度の給料でした。この頃近所の土木屋さんが草野球のチームを作っていたから入れてもらい野球をしていた。ゴルフも20才頃土木屋さん、左官さんたちに小倉カントリークラブに初めてつれってもらった。最初は負けてばかりで勝てないから、左官さんと、週1回のペースで1年半ぐらい打ち放なしに行って練習した。スライスばかりしかよう打たなかったから、フックの打つ練習して、打てるようになってきたらストレートの球が打てるようになってきた。唯一、ゴルフはいまでもつづいている。お面白いしね。この頃パチンコもよく行っていた。パチンコは20年前ぐらいにやめた。

働き出して1人前になってから、自分のお金で飲みに行くようになった。スキーも年に2~3回行っていた。映画「私をスキーに連れてって」がやっていた頃かな。29才の頃字の消防団に入りました。この頃消防団の人たちが作っていたソフトボールチームにも入れもらってやっていた。だいたい日曜日の夜ナイターです。

仕事も40才ぐらいから父にまかせてもらうようになりました。7~8年前ぐらいから母が認知症、父が腰痛で動けなくなったりで4年ぐらい前にグループホーム、特別養護老人ホームに入るまで間が大変でした。

現在は、海南市下津で建築請負の仕事が続いています。皆さん、これからも宜しくお願いします。

## 7. 閉会点鐘

### 次回例会

第2124回 2023年1月23(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

新会員卓話 岡 洋平 君 榊原 由希子 君

## 私たちは行動人です

グローバルなネットワークを形づくる世界140万人のロータリー会員は、自らのスキルとリソースを生かして問題を解決し、地域社会のニーズに取り組んでいます。



## ニコニコ・BOX



Happy birthday!

1月のお祝い



○奥様・旦那様誕生日

7日 魚谷 佳加 様

○結婚記念日

10日 阪口 洋一 君 30日 角谷 太基 君

○奥様を偲ぶ

花畑 千富 様 平成11年1月ご逝去

○一般ニコニコ

奥 喜全 君 新春夫婦例会、ご参加ありがとうございました。

田中 淳 君 1月3日に父が他界しました。

## Rotary NEWS

### 2023-24 年度 会長テーマを発表



### 世界に希望を生み出そう

1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で、ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクト（スコットランド）は講演し、2023-24年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。



マッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

さらに「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は

述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができました」と話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」



## 平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

### 「平和とは、希望が根づくための土壌です」

また、継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去1年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付して

いるクラブも5分の1を下回っています。

「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

## メンタルヘルスへの取り組み

新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」

このほか、国際協議会では、世界中からフロリダ州オーランドに集まったガバナーエレクトやそのほかのリーダーたちが、学び、絆を深めながら、次年度への意気込みを高めました。

